

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営委員会への家族の理解が乏しく出席が少ない為、開催できないことがある。	カンファレンスにも家族に参加して頂いたり、面会時にも意見交換し運営委員会への理解を深める。	ご家族が参加しやすい発言しやすい委員会を開催する為、軽食を準備したり、家族の中でも会を作っていたいただき家族同士の話し合いの機会を作る	12ヶ月
2	13	仕事に対する取り組み方や、情報の理解度に個人差がある。	個々の状態の変化や情報をスタッフ全体で統一した理解度でケアができる。	状況の情報の把握、勉強会等を実施し方向性を示す。	12ヶ月
3	26	介護計画のあり方について、本人や家族の意見等まだまだ不足しているように思われる。	担当者を的確に決め、家族、本人を交えながらカンファレンスを開催し満足の出来るサービス提供につなげていきたい。	参加できる方からカンファレンスの呼びかけを行い実践する。	12ヶ月
4	31	入居者の状態変化があった際に、報告・連絡・相談の徹底	状態の把握に努め、全体で対応できるように努める。	報告・連絡・相談の徹底。状況の共有化。	12ヶ月
5	34	内服処方ミス無くす取り組み。	内服の内容と必要性を把握。	内服一覧表により、内服薬の効果副作用等の勉強会を開催し、利用者一人一人の内服を把握してもらう。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。